

金融経済概況

【全体感】

道北地域¹の景気は、緩やかに持ち直している。

すなわち、最終需要の動きをみると、個人消費は、持ち直している。観光は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。住宅投資は、減少している。

労働需給は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。

【各論】

1. 需要項目別動向

個人消費については、持ち直している。

主要大型店は、衣料品が持ち直しているほか、食料品は売上が増加している。家電販売は、弱めの動きとなっている。乗用車販売は、下げ止まっている。

観光は、緩やかに持ち直している。

旭川地区のホテル客室稼働率、ホテル・旅館宿泊客数、観光客の入込みとも、緩やかに持ち直している。

公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準ながら弱めの動きとなっている。

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は減少している。分譲は横這い圏内の動きとなっている。

2. 業種別動向

¹ 道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内のことをいう。

第一次産業では、生乳は出荷が減少している。オホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）の水揚げは、増加している。

第二次産業では、製材は弱めの動きとなっており、紙・パルプは持ち直している。

3. 雇用・倒産動向

労働需給は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。

有効求人倍率（常用＜旭川、北見、稚内、網走＞）は、緩やかに改善している。新規求人数（同）は、緩やかに増加している。

倒産件数は、落ち着いている。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <https://www3.boj.or.jp/asahikawa/>